

市政について問う

一般質問 (要旨)

議長・副議長及び監査委員は、その職務の性質上、一般質問を行っていません。

自治会の支援

集会施設の家賃補助の創設を

対馬 ふみあき (たちかわ自民党・安進会)



問 自治会は、コロナ禍で活発な活動ができないために、自治会費が集めづらいという状況にある中、集会施設の土地賃借料や家賃が負担となっており、毎年発生するこの家賃等の問題は深刻であると考えます。自治会がまだ活動を維持したいと頑張っているのに、家賃等が払えないことで解散の危機にある場合、市が手を差し伸べるために、自治会に必要な支援として、家賃等補助制度の創設について検討していただきたいと考えますが、見解を伺います。

答 少子高齢化やコロナ禍等、さまざまな要因により、活動の縮小・休止や廃止をする自治会があることは認識していますが、現状、自治会に対する補助金は、自治会の活動や集会施設の新設、修繕等を対象としており、集会施設の家賃等は補助対象外です。自治会活動を推進していく、あるいは維持するための支援として、そのあり方について自治会連合会等の意見も伺いながら議論していきたいと考えています。

一般質問項目

- ①消防団運営について ②自治会運営について

西砂地域の雨水対策

引き続き下水道の整備に期待

門倉 正子 (公明党)



問 西砂町では、豪雨や台風により連続して浸水被害が発生し、地域の住民は豪雨のたびに不安を感じていました。このことから、西砂地域の雨水について、抜本的な対策を求めてきました。多摩川上流処理区残堀川流域について、どのような課題があり、それに対しどのように取り組んできましたか。また、今年度はどのように取り組めますか。雨水管の整備は時間がかかりますが、計画的に着実に進めていただきたい。今後の整備に期待しています。

答 雨水計画管の整備にあたり、道路が狭いことや、さまざまな埋設物がすでに地中にあることが課題です。平成30年度に西砂地域浸水対策を取りまとめ、平成30、31年度に、浸水被害地域を中心に道路排水管を整備しました。令和2年度は計画管の整備に向けた実施設計、令和3年度は整備の支障となる他企業の埋設物の移設を行いました。今年度は、すでに西砂町5丁目の2級21号線で雨水管理設工事を施工中です。

一般質問項目

- ①安全・安心のまちづくり ②安心して子育てできるまちづくり

二次元コード…

議会中継サイト上の各議員の質問動画へアクセスできます。

用語解説や写真を掲載



子育て／健康複合施設

現在の健康会館とドリーム学園、子ども未来センター内の子ども家庭支援センターと教育支援課を複合施設として整備する。機能の集約、連携の強化により市民サービスの向上を目指す。子ども未来センターの東側に建設し、令和7年度に稼働を予定している。



小・中学校の給食費

給食にかかる経費のうち、調理場の維持や光熱費等は公費でまかなうが、食材にかかる費用は保護者が負担する学校給食費でまかなわれている。1食あたりの単価は、小学校は243円～277円。中学校は300円(ミルクは別徴収)。(令和4年5月現在)

子どもの総合拠点

途切れのない支援を

稲橋 ゆみ子 (立憲民主・たちかわ)



問 子ども未来センターの東側に子育て／健康複合施設が計画されており、大変期待しています。一方で、砂川・西砂地域等の市民からは交通が不便なので利用しにくい、アウトリーチの対応をしてほしいとの声があります。その対策は。また、この施設には子育て世代包括支援センターや児童発達支援センターの機能も含まれており、関係部署を束ねるだけでなく、途切れのない支援の総合拠点として機能させることが重要と考えますが、今後の見解は。

答 住んでいる地域によらず市民が公平にサービスを受けられるよう、訪問による相談や事業は引き続き実施するとともに、複合施設の駐車場確保に取り組みます。また、複合施設では複数の部署の職員が同じ執務室内で連携を強化することとしています。さらに市民サービスの向上や効果的な事業展開、迅速な支援や判断ができるよう、先進市を参考に機能的で効率的な運営を検討していきたい。

一般質問項目

- ①子育て、子育てを応援する「福祉・教育・医療・地域」が連携した支援策の実現に向けて ②地球温暖化防止を市民と進めよう!!

行政サービスのICT化

高齢者等のサポート体制を

わたなべ 忠司 (民主・市民フォーラム)



問 行政手続のオンライン化、電子申請の導入は、非常に便利な仕組みである一方、パソコン等が苦手な方や高齢者には大変ハードルが高いと考えます。コロナワクチン接種のインターネット予約等で経験したように、操作をフォローする人が必要であり、多くの高齢者からのニーズがあることも実感しています。今後、行政サービスのデジタル化に向けて操作をサポートする体制やアナログな窓口対応も残すことは必要と考えますが、市の見解を伺います。

答 コロナワクチン接種のインターネット予約等、デジタル化において、市民へのサポートが課題となりました。行政サービスのデジタル化を進める中で、デジタル技術の活用により業務効率化を図り、人的資源を窓口のサポートに回すなど、誰一人取り残さないよう配慮していきます。現在行っている電子申請でも、必要なフォローやサポート体制をとっており、今後のデジタル化の推進にあたっては継続していきます。

一般質問項目

- ①交通政策について ②行政サービスのICT化

物価高騰の学校給食への影響

保護者負担増にならないように

瀬 順弘 (公明党)



問 物価高騰の学校給食への影響はどのように把握していますか。給食費の負担増を抑えるために、新型コロナ対応の地方創生臨時交付金の活用が可能という、国からの通知が出ています。私たちの会派でも、質や量の低下を招くことなく給食提供を維持すること、高騰する食材料費等の増額分を支援し、保護者負担を増やすことなく学校給食を提供することなど3点を市長に要望しました。保護者負担を増やさないことができるのか、市の見解を伺います。

答 多くの食材及び調味料等の価格が上昇している状況があることから、現在、献立を工夫するなどして対応しています。例えば、国の学校給食摂取基準に基づいて栄養価を考えた上で、豚肉であれば使用部位を変更するなどの工夫です。市としても、学校給食における食材費等の価格の上昇を調査し、使用量や栄養価を落とさないよう、国の地方創生臨時交付金の活用も含め、対応を検討しています。

一般質問項目

- ①富士見町・柴崎町の地域課題について ②柴崎市民体育館について ③おもちゃの病院について ④学校給食について

コトリンク

市の魅力の効果的な発信を

江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)



問 立川駅南口にオープンするコトリンクには、本市をはじめ多摩地域や姉妹都市大町市の特産品販売コーナーとカフェが1階に併設されますが、期待できる効果をお示しください。また、3階には情報発信センターが入る予定ですが、どのように情報発信していくのか伺います。ターゲットを若い世代等に絞りつつ、その他の世代にもアプローチする必要があります。さらに、1階と3階がコラボすることによって発信の効果が上がると考えます。

答 来店者に、立川産や多摩産の農産物を使った料理を楽しみ、おいしさを知ってもらうことで、農産物の購入につながるような新たな需要の掘り起こしができると考えています。また、南口のにぎわいの創出にも効果を発揮することができると考えています。情報発信のターゲットは20～30代ですが、情報の発信の仕方や効果等について経験を積み上げ、それらを生かして、他の世代への情報発信につなげていきたい。

一般質問項目

- ①魅力発信拠点施設コトリンクについて ②立川市の防災・危機管理体制について ③樹木点検について